

平成28年度全国高体連自転車競技専門部

第110回全国専門委員長会 次第

期 日 平成29年2月11日(土)・12日(日)
会 場 東京都立工芸高等学校 会議室

次 第

- 1 司会進行 塚崎 邦嗣
- 2 出席者 出席 45名(うち委任状1名) 欠席2名
- 3 部長挨拶 折井 巧 議事録署名人 静岡県 山本 明弘・京都府 中野 哲治
- 4 議長選出 第26条3項により部長が担当
- 5 審議事項
 - (1) 平成28年度事業報告(案)について (事務局)
→ 承認
 - (2) 平成28年度収支中間決算(案)について (事務局)
・支出項目から補食費が削除された。会議のお茶代も会議費には認められなくなった。
→ 承認
 - (3) 平成29年度事業計画(案)について (事務局)
・29年度全国高校選抜対大会の会場および日程は現時点で未定。
・日韓対抗大会がなくなり、新規に環太平洋ジュニアトラック自転車競技大会に変更して実施。
大会日程は29年11月10日(土)～15日(水)、会場は香港で決定。
・東北ブロック責任者変更 相原好宏 → 佐藤誠(山形・村山農高)
→ 承認
 - (4) 平成29年度収支予算(案)について (事務局)
・大会助成で新規の環太平洋ジュニアトラック大会の選手派遣に助成する。
・予備費はH32年全国高校総体に向けて積立てる。
→ 承認
 - (5) 平成28年度全国高校選抜自転車競技大会事前協議事項について(理事長・総務・競技運営)
・4月の熊本地震の影響により競輪場が使用できなくなり、トラック競技は久留米競輪場で開催することになった。
・新ルールで運用・・・2016年10月の競技規則の改定によりケイリン、ポイントレース
○ケイリン離脱位置は残り2周のフィニッシュラインで行う。
ペーサ速度は女子は5km/h減で行う。
ケイリンのペーサ離脱前・・・ペーサの前輪前端を越えない。
○ポイントレースの最終フィニッシュはダブルポイントとする。
・選抜大会トラックは29、30年は熊本市での開催は不可能になった。
・JCFのJKA補助金前渡金がない状態・・・高体連が補助金申請団体になるよう進めていく。
→ 承認
 - (6) 平成29年度全国高校総合体育大会について(福島県) (担当者・中野目)
・会場状況、会場間の移動について説明。
・制限タイムの見直し・・・過去3年分の記録を集計し、タイム制限の変更をしない。
・電子計時と手動計時の補正・・・0.03秒補正する。

- 承認
- (7) 平成32年度全国高校総体開催地について (理事長)
- ・長野県高体連会長、長野県車連理事長へ交渉・・・付帯施設設置エリアの不足、アクセス道路、救急体制に課題あり。経費については特別基金をつくり開催地の負担を減らす方向。
 - ・29年3月中に何らかの結論を目標にしている。
- 承認
- (8) 全国高校総体への女子種目（正式競技）の導入について (理事長)
- ・正式競技としてH30年東海ブロック静岡県大会から実施。
- 承認
- (9) 平成31・32・33年度全国高校選抜自転車競技大会開催地について (理事長)
- ・開催地未定。引き続き公募する。
- 承認
- (10) 平成29年度以降の日韓対抗学生自転車競技大会について (理事長)
- ・28年度の前橋大会を最後に日韓対抗は廃止。
検討を進める中で、従前通り国際親善を趣旨にして、参加国を増やし国別対抗戦を実施するに至った。29年11月第1回として香港で開催を決定。2020年は日本で開催。
 - ・各国男女6名、監督コーチ3名の合計15名を選手団とする。
 - ・選抜大会、全国高校総体の結果をふまえ、選手選考する。
- 承認
- (11) 各専門部会より（総務・競技運営・強化育成）
- 【総務】
- ・提案1～5（別紙）について
- 提案2 29年度以降選抜大会参加枠について
- 意見 ロード各県最大4名に対して満たない県が出てくる。ロードも比例配分という考えはどうか。
- 提案3 29年度全国高校総体より各都道府県代表1枠をなくし、ブロック枠に入れてブロック選考にする。
- 理由・トラックはブロック大会での選考になっているので統一したい。
- ・各都道府県予選でロードが開催できないところが多く、実態としてブロック大会で県代表を決めている経緯がある。選考方法は各ブロックにおまかせする。
- 意見
- ・ロード主体に頑張っている学校もあり、都道府県枠を残してほしい。
 - ・ブロック間の公平感を保つため、各都道府県代表枠を残して、ブロック枠に返上しブロックで選考する方法でよいのではないか。
 - ・選手育成・強化の観点でいえば、各都道府県単位でロードを実施する努力をしてほしい。
- 保留 各ブロックで協議
- ・関東以外は原案に賛成、関東は都道府県枠を残してほしい。
- 多数決
- ・原案に賛成が過半数により原案可決。
- 提案4 安全対策について
- 指導書作成については検討継続
- 承認
- 提案5 広報部会設立
- 承認
- 提案6 専門表彰について
- 資料に追加してアジア選手権のチームスプリント優勝メンバー 中野、梶原、山根
および各校顧問 猿館先生（紫波総合高）、福井先生（倉吉西高）
- 承認
- 提案7 ジャージ登録申請について電子データで登録する。
- 承認
- 提案8 加盟校登録名簿冊子作成の廃止 電子データを各都道府県委員長にメールで送信する。

→ 承認

【競技運営】別紙報告

【強化育成】別紙報告

(12) 役員改選について

選挙管理委員長 川上 等氏より報告

理事長改選期あたり、1月選挙公示がされ、九州ブロックより他薦された。

他候補の推薦がなく、中梶秀則氏が信任で新理事長に決定した。

(13) その他

6 報告事項

(1) 平成28年度全国高校総体（鳥取・広島）の報告（鳥取県・広島県担当者）

総務部会長より

幹旋以外の弁当を注文し会場で引き渡しを行った学校があり、実行委員会とトラブルになったケースが報告された。参加校には大会幹旋弁当をなるべく注文するように勧める。

(2) 平成28年度日韓対抗学生自転車競技大会について（理事長）

(3) 全国高体連自転車競技専門部 協賛企業について（理事長）

(4) JCF関係について（理事長）

①規約改定と役員改選について

(5) 各専門部会より（総務・競技運営・強化育成）

・各部会より

(6) 賛助会員の状況について（事務局）

(7) その他

①理事長より 体罰根絶について